

10代のみなさんに贈る

吉村昭

Yoshimura
Book
List

ブックリスト



読書を愛するまち・あらかわ
荒川区立図書館

荒川区出身の作家 吉村昭



略歴

昭和2年(1927)、東京府北豊島郡日暮里町谷中本(現在の荒川区東日暮里6丁目)に生まれる。平成18年(2006)、79歳で逝去。

純文学のみならず、戦史や歴史を素材とした記録性の高い作品を数多く発表し、太宰治賞や菊池寛賞をはじめ、数々の文学賞を受賞。平成16年からは日本芸術院第二部長を務めるなど、日本の文学界に多大な功績を残しました。

作風と制作方法

^{めんみつ}綿密な取材と調査から表現される作品で高く評価された吉村昭。史実をもとにした^{ちみつ}緻密で淡々とした表現の作品が多数を占めます。

取材へ行く際はお気に入りの万年筆と取材ノート、録音のためのカセットやカメラを準備し全国を巡りました。インターネットのない時代だったので、現地の図書館や郷土資料館を訪れ、^{ぼうだい}膨大な資料に目を通し、ある時は専門家の元に足を運び取材し、作品を執筆していました。時には研究者を^{おどろ}驚かせるほどの知識量を持っていたといいます。



『ポーツマスの旗』改版 新潮社

誰もが勝てないと思っていた日露戦争の数々の戦いで、大きな犠牲を払い勝利した日本。国民の期待に反し、ロシアの頑なな姿勢から大きな金銭や利権などを得るのは絶望的な状況のなか、外相・小村寿太郎はポーツマス講和会議でロシアとの緊迫の交渉に臨む。



『戦艦武蔵』改版 新潮社

戦艦「武蔵」は日本海軍の夢と野望をかけて、昭和13年から4年余の歳月をかけて極秘裏に建造された。不沈と信じられた巨大戦艦「武蔵」はどのようにしてつくられ、戦い、海に沈んでいったのか。ちなみに、吉村昭記念文学館には「武蔵」のプラモデルが展示されている。

『脱出』改版 新潮社

戦時を背景とした短編を収録。突然のソ連の参戦に動揺し、樺太から北海道へと脱出する村人たちを追った表題作「脱出」や、沖縄から鹿児島へ向かう学童疎開船が米潜水艦に撃沈され、漂流の末生き残った中学生の体験談を描いた「他人の城」が載っている。



『東京の戦争』 筑摩書房

自身の戦争体験や戦中戦後の東京下町の暮らしを綴った作品。自宅の物干し台で風揚げをしている時に東京初空襲のB25を目撃した話や、東京開成中学校時代に汽車に乗り、ひそかに山梨県まで一人旅を楽しんで葡萄を食べた話も載っている。

「少年の夏」『教科書に載った小説』より
佐藤雅彦／編 ポプラ社

敏夫と照子の幼い兄妹は、父が道楽で飼い始めた鯉と庭の池で遊ぶことが夏休みの楽しみであった。が、ある事件をきっかけに父は情熱を注いだ池をつぶし、鯉を手放すことになり……。



「同居」『中学生までに読んでおきたい日本文学 5
家族の物語』より
松田哲夫／編 あすなろ書房

平瀬は紹介された美しくつつましい女性と交際し、結婚を考えていた。しかし、一人暮らしの彼女の家で彼女が同居しているモノと出会い、結婚をやめることにした。彼女が同居していたモノとは一体？



「見えない橋」『中学生までに読んでおきたい日本文学 1
悪人の物語』より
松田哲夫／編 あすなろ書房

刑務所から釈放された人の社会復帰をサポートする「保護会」のリーダー・清川に、69歳の受刑者・君塚を受入れてほしいと依頼が届く。しかし、君塚は36回も、刑務所を出ては捕まることをくり返していた。それはまるで刑務所に戻りたがっているかのようで……。



『冷い夏、熱い夏』改版 新潮社

働き盛りの弟を突然癌が襲った。私はその事実を弟に隠し通すことを決意し、厳しい闘病生活の末待っているものは死のみであることを悟られないように振る舞う。実弟の闘病とその死を見つめた夏を克明に描いた作品。

『星への旅』改版 新潮社

トラックの荷台に揺られ、北国へ。星がまたたく空の下、海を望む断崖絶壁にたたずんだ。実際に起きた集団自殺をヒントに、吉村昭が描いた「死」。崖の上の彼らが、その後取った行動とは？第2回太宰治賞を受賞した吉村昭の出世作。



『吉村昭の平家物語』 吉村昭／訳 講談社

「祇園精舎の鐘の声……」でおなじみの『平家物語』を現代語訳！ 平安時代の終わりに栄華を極め、滅びの道をたどっていく平家一族の悲しい運命を丁寧に描く。

「吉村昭の平家物語」上・下

(『21世紀版少年少女古典文学館』11・12) 講談社

『少年少女古典文学館』ver.では写真やイラストなどの解説も盛りだくさん！初心者でも安心して読める。





『^{くまあらし}熊嵐』改版 新潮社

北海道のとある村に凶暴なヒグマが現れ村はパニックに! 死者は6名にも上り、村人たちは大ピンチ。警察もなす術がない中、一人の年老いた^{りょうし}獵師が、^{りょうじゅう}獵銃を手に雪山に足を踏み入れる……。大正時代に実際にあった事件を^{もと}基にした物語。

『^{はこく}破獄』改版 新潮社

青森、秋田、網走、札幌と犯罪史上^{みぞう}未曾有の4度^{だつこく}脱獄を謀った佐久間清太郎。昼夜嚴重な監視下におかれていたにも関わらず、脱獄を成功させた、超人的ともいえる^{おどろ}驚くべきその手口とは? 刑務所という閉ざされた空間の中での、看守と脱獄囚の緊迫した^{たたか}闘いを描く。



『海も暮れきる』新装版 講談社

「咳をしても一人」など自由律俳句で知られる尾崎^{おざき}放哉。あまりの酒癖の悪さに職を失い、妻にも見放され、放浪の末に流れ着いた小豆島^{しょうどしま}。病に侵され死を迎えるまでの8ヶ月の孤独な日々を^{せんれつ}鮮烈に描き出す。

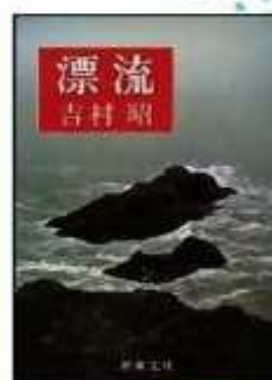


『破船』^{はせん}改版 新潮社

極貧の村に大きな恵みを与える「お船様」^{ふねさま}。それは船を座礁させ積荷を奪い取る、恐ろしい風習だった。ある冬、死人を乗せた「お船様」がやってきた。村人たちは、死人が身に着けていた上質な着物を「お船様」からの恵みとして分配すると……。

『漂流』^{ひょうりゅう}改版 新潮社

江戸時代、土佐の船乗り長平^{ちやうへい}は大シケにあって10日以上も漂流する。無人島に流れついたがそこは水も湧かない火山島だった。仲間が次々と倒れていくなか長平はひとり生き残り、漂着^{ひょうちゃく}から12年後ついに生還^{せいかん}を果たす。長平はどのようにして生き残ったのか？



『朱の丸御用船』^{しゆ まるごようせん} 文藝春秋

江戸時代の貧しい村が舞台。目の前の海で難破した船から積荷の米を盗んだ村人たち。しかしそれは幕府に年貢米を運ぶ「御城米船」^{ごじやうまいぶね}であった。だれにも見られていないはずだった……。全編を通してハラハラする緊張感^{きんちやうかん}があり、ミステリー好きにおすすめ。実話^{じつわ}を基にした物語。

『大黒屋光太夫』^{だいこくやこうだゆう}上・下 新潮社

時は江戸時代、1782年。船頭・光太夫^{こうだゆう}は、伊勢から江戸へ向かう道中恐ろしい嵐に遭い、船員たちとともに遭難。長く辛い漂流の末にたどり着いたのは、寒さの厳しいロシアの小島だった。日本に帰るため、光太夫たちの壮絶なロシア横断の旅がはじまる。





さんりくかいがんおつなみ
『三陸海岸大津波』 文藝春秋

明治29年、昭和8年、そして昭和35年。三陸海岸を襲った3度の大津波。著者が自らの足で求めた貴重な体験者の証言や記録。自然による恐怖と、豊かさや美しさは表裏一体であることを改めて感じさせられる。

『関東大震災』新装版 文藝春秋

大正12年、関東を襲った大震災。余震におびえ、デマに惑わされ、窃盗や略奪が横行し、劣悪な環境で感染症も流行した。震災の被害だけではなく、その後何が起こったのかを、綿密な調査と取材を重ねて執筆した。災害を知って考えるために最適な一冊。



こうねつすいどう
『高熱隧道』改版 新潮社

昭和11年、黒部溪谷で発電所をつくるためにトンネルの工事が始まった。掘り進むにつれて坑内の温度は上がり続け、発破用のダイナマイトも自然発火してしまう。耐え難いほどの熱気の中、ホースで全身に水を浴びせながら男たちは掘り進んだ。

にじ つばさ
『虹の翼』新装版 文藝春秋

ライト兄弟が世界最初の飛行機を飛ばす前に、日本で人を乗せて空を飛ぶ「飛行器」を考えていた男がいた。幼い頃に、家の事業が倒産。貧しい子供時代を経て、軍隊で看護兵になる。戦争を経験しながら「飛行器」完成に尽力した、二宮 忠八の物語。





『東京の下町』新装版 永田力／絵 文藝春秋

吉村昭が子どもの頃暮らした町・日暮里。少年だった著者の目を通して描かれる昭和初めごろの街並みや、人々の暮らし。長い年月を経て変わったものはもちろん、意外と変わらないものもあったり!? 今の街並みや暮らしと比べながら読んでみるのがオススメ!

『事物はじまりの物語／旅行鞆のなか』

筑摩書房

長年の執筆活動から得た知識や経験をまとめたエッセイ集。電話など身の回りの物のはじまりを語った「事物はじまりの物語」。小説を書くための調査で出会った人々や体験をまとめた「旅行鞆のなか」。どちらも吉村昭の人となりがよく伝わってくる。



『街のはなし』 文藝春秋

人々の何気ない日常を鋭い視点から切り取ったエッセイ集。寮生活を送る訳あり労働者が主人公の「十七歳の少年」、飼い主の言葉と犬の行動に深く考えさせられる「告知」、小学生時代の気になる女子とのエピソードを描く「駅のホーム」など79編を収録。

リスト掲載本一覧

タイトル	出版社	刊行年	ページ
『ボーツマスの旗』 改版	新潮社 (新潮文庫)	2013	2
『戦艦武蔵』 改版	新潮社 (新潮文庫)	2009	2
『脱出』 改版	新潮社 (新潮文庫)	2013	2
『東京の戦争』	筑摩書房 (ちくま文庫)	2005	2
「少年の夏」 『教科書に載った小説』 佐藤雅彦/編	ポプラ社 (ポプラ文庫)	2012	3
「同居」 『中学生までに読んでお きたい日本文学 5 家族の物語』 松田哲夫/編	あすなろ書房	2011	3
「見えない橋」 『中学生までに読んでお きたい日本文学 1 悪人の物語』 松田哲夫/編	あすなろ書房	2010	3
『冷い夏、熱い夏』 改版	新潮社 (新潮文庫)	2013	4
『星への旅』 改版	新潮社 (新潮文庫)	2013	4
『吉村昭の平家物語』 吉村昭/訳	講談社 (講談社文庫)	2008	4
「吉村昭の平家物語」 上・下 『21世紀版少年少女古典 文学館』11・12 吉村昭/訳	講談社	2010	4

タイトル	出版社	刊行年	ページ
『黒嵐』 改版	新潮社 (新潮文庫)	2013	5
『破獄』 改版	新潮社 (新潮文庫)	2011	5
『海も暮れきる』 新装版	講談社 (講談社文庫)	2011	5
『破船』 改版	新潮社 (新潮文庫)	2012	6
『漂流』 改版	新潮社 (新潮文庫)	2008	6
『朱の丸御用船』	文芸春秋 (文芸文庫)	2000	6
『大黒屋光太夫』 上・下	新潮社 (新潮文庫)	2005	6
『三陸海岸大津波』	文芸春秋 (文芸文庫)	2004	7
『関東大震災』 新装版	文芸春秋 (文芸文庫)	2004	7
『高熱隧道』 改版	新潮社 (新潮文庫)	2010	7
『虹の翼』 新装版	文芸春秋 (文芸文庫)	2012	7
『東京の下町』 新装版 永田力/絵	文芸春秋 (文芸文庫)	2017	8
『事物はじまりの物語/ 旅行靴のなか』	筑摩書房 (ちくま文庫)	2014	8
『街のはなし』	文芸春秋 (文芸文庫)	1999	8





吉村昭記念文学館

に行ってみよう！

吉村昭記念文学館は
ゆいの森あらかわ 2・3階にあります。

開館案内…9時～20時30分

入館料…無料

文学館ホームページは
こちらから！



Yoshimura Book List



荒川区立図書館

ゆいの森あらかわ	☎3891-4349
南千住図書館	☎3807-9221
尾久図書館	☎3800-5821
町屋図書館	☎3892-9821
日暮里図書館	☎3803-1645
汐入図書SS	☎3807-8130
冠新道図書SS	☎3800-3321

図書館のホームページから
本を探せます



[https://www.library.city.
arakawa.tokyo.jp](https://www.library.city.arakawa.tokyo.jp)

吉村昭ブックリスト
登録(04)0132号
2023年3月発行

発行: 荒川区立図書館
編集: 荒川区立図書館
ティーンズ担当
協力: 吉村昭記念文学館

